

2019年度 住総研 「研究・実践選奨」・「研究・実践選奨 奨励賞」受賞者

住総研では、住まいに関する研究振興並びに研究活動の活性化に資することを目的として、『住総研 研究論文集・実践研究報告集』に掲載された論文の中から、優れた論文2～3編を毎年表彰しています。

今年度は、次の4編の論文が受賞されました。

■研究・実践選奨

(研究NO.順/所属は『住総研 研究論文集・実践研究報告集』第45号 掲載時のもの)

		氏名	所 属	論文主題/副題 (研究・テーマ種別)
1	主査	佃 悠	東北大学大学院 助教	高齢者の自立的生活を支える共助型集合住宅に関する研究 —相馬井戸端長屋を事例として— (研究/自由テーマ)
	委員	石井 敏	東北工業大学 教授	

2	主査	柳沢 究	京都大学 准教授	中部地方における防災建築街区の実態把握と評価および現況の課題 —近現代の建築資源を活かしたまちなか居住の実現に向けて— (研究/自由テーマ)
	委員	海道 清信	名城大学 教授	
		脇坂 圭一	静岡理工科大学 教授	
		米澤 貴紀	名城大学 助教	
		角 哲	名古屋市立大学 准教授	
		高井 宏之	名城大学 教授	

3	主査	辻 麻里子	宮前まち倶楽部 代表	公園を活用した住民主体のコミュニティプラットフォーム —川崎市宮前区を対象地とした「まちかどマルシェ」の実践— (実践/自由テーマ)
	委員	渡邊 秀樹	有限会社リノベイトダブリュ 代表取締役	
		藤牧 功太郎	新宿区役所	

■ 研究・実践選奨 奨励賞

		氏名	所 属	論文主題／副題（研究・テーマ種別）
4	主査	矢吹 剣一	東京大学 特任研究員	縮退型都市計画の導入実態と居住抑制地区 の実装過程に関する研究 —米国中西部の人口減少都市を対象として— (研究／自由テーマ)
	委員	黒瀬 武史	九州大学 准教授	

以 上